

令和6年度 愛知県スマートシティモデル事業

災害対策における共助と公助のスマート化

岡崎スマートコミュニティ推進協議会
(岡崎市・ミクスネットワーク株式会社)

1 背景・目的

計画 ・ 現状

岡崎市地域防災計画

地震編 重点を置くべき事項

- ①揺れ対策の充実
- ②大規模広域災害への即応力強化
- ③被災地への円滑な物資供給
- ④円滑かつ安全な避難
- ⑤避難生活・生活再建の支援
- ⑥事業者・住民等連携
- ⑦円滑・迅速な復興

風水害編 重点を置くべき事項

- ①大規模広域災害への即応力強化
- ②被災地への円滑な物資供給
- ③円滑かつ安全な避難
- ④住民による自発的な避難行動
- ⑤避難生活・生活再建の支援
- ⑥事業者・住民等連携
- ⑦円滑・迅速な復興

防災現場

傾向

- 避難多様化
- 困難な被害予測
- 孤立集落対策
- 災害救助法早期適用

前提

情報の収集

情報の伝達

資源

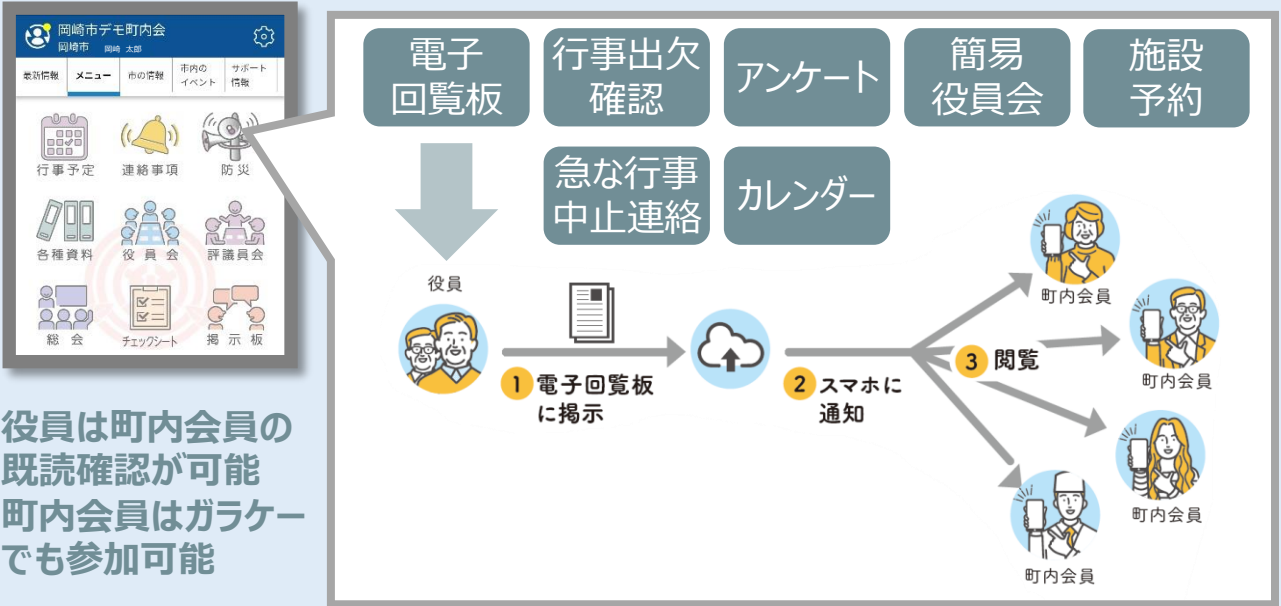
活発な町内会活動 + 総合計画位置付け + 回覧板アプリ試行導入中

方針

情報収集・伝達へのスマート技術活用

共助：町内会で早期に安否確認 公助：町内会から市へ被害報告で資源の最適配分

2 回覧板アプリの試行導入（平時利用から有事を見据えて）

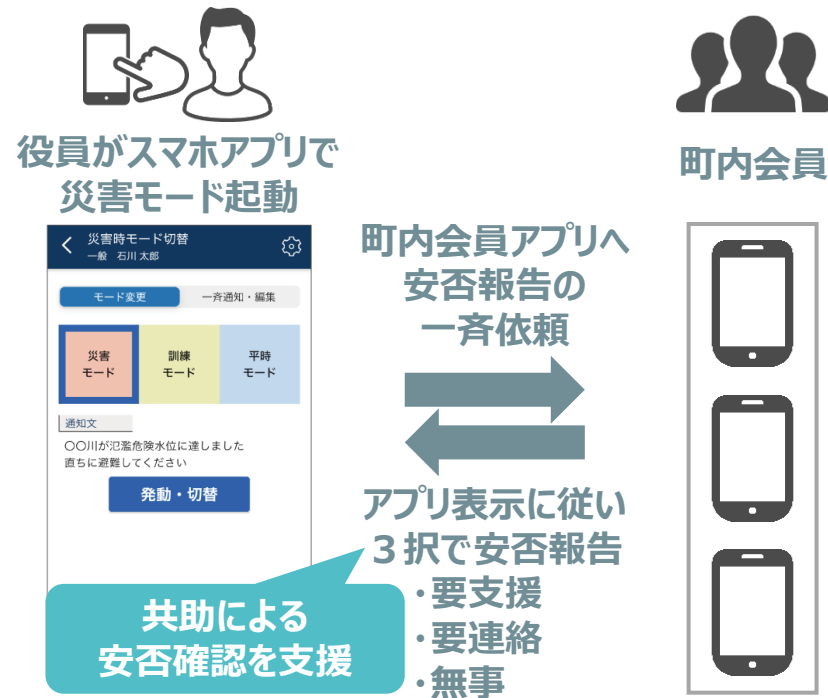
	平時	有事
町内会役員 ⇕ 町内会員	【試行導入中】 役員負担軽減、町内会員利便性向上  ・役員は町内会員の既読確認が可能 ・町内会員はガラケーでも参加可能	本事業範囲 【対応可能な課題】 町内会での安否確認 （共助の要）
町外	【対応可能な課題】 他サービスとの連携 （診療所・モビリティ・商店）	【対応可能な課題】 被害状況の市への共有 （災害対策資源の最適配分）

3 実証実験の内容

回覧板アプリ委託のミクスネットワーク株式会社とコンソ組成（②システムは市内事業者、各合意形成支援は「りた」）

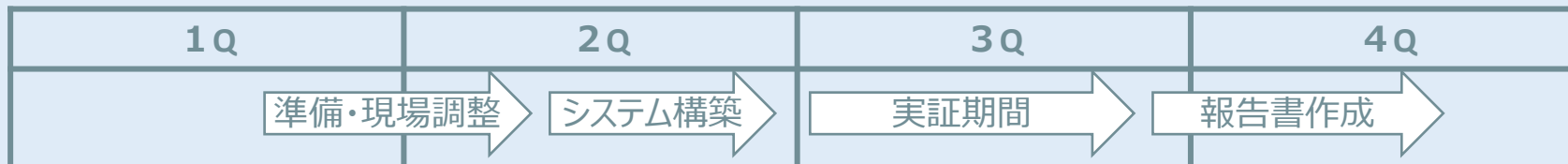
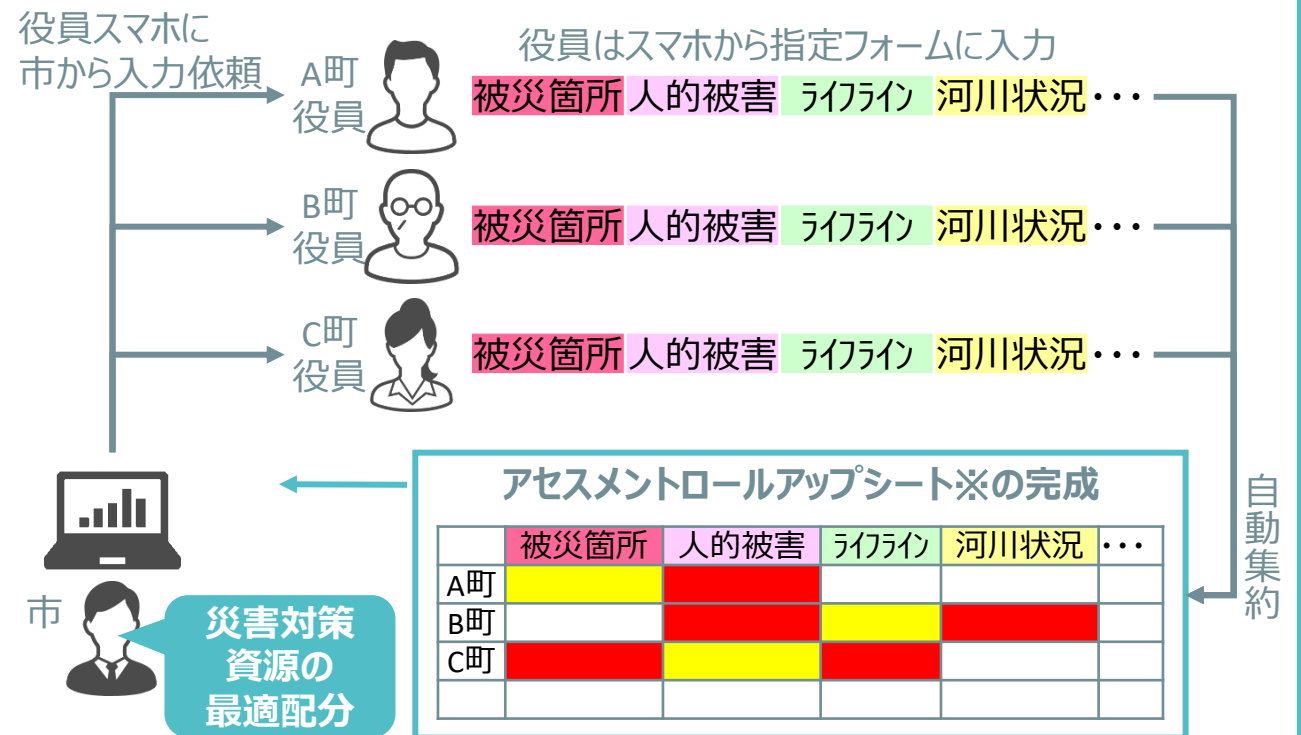
①共助のスマート化

安否確認（町内会役員⇄町内会員）



②公助のスマート化

被害状況報告（市防災課⇄町内会役員）



※ 地区ごとの被災状況を視覚的に把握する帳票

4 実証実験の成果 ① 共助のスマート化

訓練実証

町内会員の スマホ画面



役員の 集計画面



集計結果

回答有無	内訳	人数（人）
回答	至急支援希望	4
	連絡希望	1
	無事	55
	回答計	60
未回答	既読	3
	未読	66
	未回答計	69
	合計	129

台風順延で
小学校学芸会と
重複し未読多数

普段の閲覧板
既読率はほぼ
100%

結果分析

【確認されたメリット】

- ・ 人工の削減・スピード向上
- ・ 情報伝達の確実性向上
- ・ 遠隔性・汎用性向上

【懸念点①】

どの世帯に
属する人が不明

【対応策①】

役員スマホの集
計画面と町内会
で管理する名簿
を見合わせて確
認

【懸念点②】

町内会で
自立運営できるか

【対応策②】

- ・ 事前体験会の実施
- ・ 定期訓練の実施
- ・ 平時閲覧板操作に慣れる
- ・ 体制、基準づくり

4 実証実験の成果 ② 公助のスマート化

訓練実証

アセスメントロールアップの知見収集

報告項目の決定

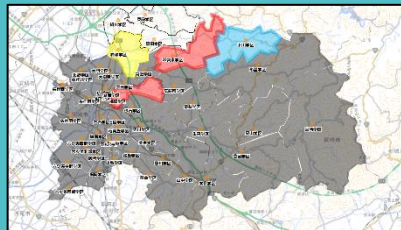
システム設定（kinton活用）

訓練実証



No.	町内会	町内会名	町内会住所	町内会電話番号	町内会メールアドレス	町内会ウェブサイト	町内会Facebook	町内会Twitter	町内会Instagram	町内会LINE	町内会WeChat	町内会WhatsApp	町内会Telegram	町内会Signal	町内会Zapier	町内会IFTTT	町内会Zapier	町内会IFTTT
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15

町内会長スマホの入力
フォームから被害情報を選
択入力すると
市PCにて各町、各小学校
区集計し図示



結果分析

【確認されたメリット】

- ・ 市情報収集の効率化
- ・ 出所が確かな情報の確保

【懸念点】

町内会、行政ともに
いざという時に使えるか

【対応策】

<町内会>

- ・ 情報収集の検討
- ・ 行政と共に他用
途開発しフォーム
入力に慣れる

<行政>

- ・ アセスメントロールアップ実
装に向けたアレンジ
- ・ 体制、基準づくり
- ・ フォーム入力UI改良

5 事業総括と今後の展望

共助のスマート化：3町内会で実施
公助のスマート化：1小学校区内の7町内会で実施

いずれもシステムはスムーズに動作することを確認
留意点を踏まえ、いかに拡大していくか

「自分の無事を伝えることは誰かの命を救う」

共助のスマート化

電子回覧板を試行導入中の町内会が行う
防災訓練でさらに取組み拡張を展望

- ・ 行政サポートをいかに充実させるか
- ・ 共助での救助活動の進め方検討
- ・ スマホ持たない・不慣れへの対応検討

公助のスマート化

実装に向けてアレンジを検討しつつ、他小学校区の防災訓練へ拡張を展望

- ・ 市資源配分の最適化判断の訓練
- ・ 災対本部活用や受援時活用の検討
- ・ 共助スマート含め町情報収集体制検討
- ・ スマホを持たない・不慣れへの対応検討